

学習シラバス 芸術科

科目名	単位数	学科・学年・類型
美術 I	2	普通科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 表現活動や鑑賞活動をとおして、美術を愛好する心情を育てます。 2 様々な表現活動から、感性を豊かにし表現・鑑賞能力を伸ばします。
使用教科書・副教材等	美術1（光村図書）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	
1 学 期	美術オリエンテーション ①道具の取り扱い ②クロッキー 絵画 【デッサン】 デザイン 【表紙デザイン】 ①レタリング ②ロゴタイプ 【グリーティングカード】 ①題材の決定 ②構図の決定 ③配色計画	4	デッサンに関して基本の学習をします。	
		5	デザインへの関心を高め、色の三属性など色彩を体系づけて理解します。	
		6	リキテックス（アクリル）の様々な表現方法、扱い方について理解を深めます。	
		7	グリーティングカードについて理解をふかめ、意匠・構図・配色を考えます。	
		【課題・提出物等】 1 制作に必要な資料等 2 鑑賞レポート		
		【1学期の評価方法】 制作に必要な準備物、制作作品、学習活動への参加の仕方や態度の評価を算術平均する。		
		2 学 期	鑑賞 【鑑賞レポート】	8
絵画 【抽象表現】	9		新しい絵画である抽象表現により、純粹に色と形だけで作品ができることを理解します。	
【構想表現】	10		主題を表現するために構想的な絵を描きます。	
絵画 【風景表現】 【立体造形】	11		透視図法を考慮に入れた校内風景を描きます。	
1 透視図法 立体 【自刻像】	12		校内に作ることを想定して記念碑のアイデアを考えます。 校内風景に記念碑の完成予想図を描き加えます。 彩色頭像の支持体を準備する。	

【課題・提出物等】 1 制作・自己評価表 2 制作に必要な資料等 3 鑑賞レポート・夏季休業中の課題			
【2学期の評価方法】 制作に必要な準備物、制作作品、学習活動への参加の仕方や態度、夏季休業中の評価を算術平均			
3 学 期	①成形	1	細部への観察を深め、自刻像を完成させます。
	②彩色	2	自刻像に彩色します。
	1年間を振り返って	3	1年間の学習を振り返り、作品の鑑賞・技法の確認をします。
【課題・提出物等】 1 制作・自己評価表 2 制作に必要な資料等			
【3学期の評価方法】 制作に必要な準備物、制作作品、学習活動への参加の仕方や態度の評価を算術平均			
【学年末の評価方法】 1学期と2学期と3学期の評価を算術平均			
確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の課題は技量だけでなく、取組方や美術に対する意識を観るための物です。今までの人生で培ってきたもの、日々の美に対する意識や発見など様々なものを総括した取組が出来ているかどうか重要です。授業の中で発見したことはもちろんのこと、生活の中で感じたことを意識にとどめ、作品が僅かでも良くなるように意識して取り組んでください。 		
授業を受けるに当たって守って欲しい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で道具の管理を徹底してください。（記名・手入れなど） ・学校の備品を使用する機会が多いので、汚さないようにしてください。 ・課題の提出期限を厳守してください。 ・実技教科は授業中の取り組みが大きく評価されます。授業への積極的で能動的な参加を特に大切にしてください。 		

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「関心・意欲・態度」、「表現の創意工夫」、「創造的な表現の技能」及び「鑑賞の能力」の4つの観点で評価します。

評 価 の 観 点 及 び 内 容	評 価 方 法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術を愛好し、表現力を高め、個性を生かして意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。
美術表現の創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・感性を豊かにし、様々な作品のよさや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫する。
美術表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を主体的に表現するために、基礎的な技能を身に付ける。
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品への関心を深め、そのよさや美しさを深く味わう。